

## 8-4-29 参加型計画専門委員会

### 1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成 17 年より活動をしている。

#### (1) 委員会の開催

令和 6 年度の活動は、専門委員会を 10 回開催、講習会 1 回、勉強会 3 回開催した。主な活動は、下表の通りである。

表 1 専門委員会の開催と主要活動状況

| 回数 | 日付   | 活動項目              |
|----|------|-------------------|
| 1  | 4/16 | 年度計画の設定と WG 取組方針  |
| 2  | 5/14 | 勉強会・講習会の開催方針      |
| 3  | 6/13 | 地方創生 DAO 勉強会の実施計画 |
| 4  | 7/9  | ICT コミュニケーションの検討  |
| -  | 7/30 | 地方創生 DAO の山古志勉強会  |
| 5  | 8/7  | LABV の事例調査の内容検討   |
| 6  | 9/9  | プラットフォーム関連の勉強会    |
| -  | 9/11 | LABV 勉強会の実施計画     |
| 7  | 10/8 | 講習会の実施計画          |
| -  | 11/1 | LABV 山陽小野田勉強会     |
| 8  | 11/6 | 勉強会報告と講習会の方針      |
| 9  | 12/5 | 講習会資料の確認と実施体制     |
| 10 | 1/16 | 講習会の最終確認          |
| -  | 1/16 | 専門委員会講習会の開催       |
| -  | 3/7  | 幹事会：次年度の活動について    |

#### (2) 活動概要

多様化する社会ニーズに対応する市民参加を検討するため、DAO（分散型自立組織）※を活用したまちづくり事例調査、コミュニケーションプラットフォーム実態調査、公有地を現物出資して官民連携する LABV プロジェクトの調査等を行い、それらの成果をとりまとめて講習会を開催した。また、ホームページを活用した広報活動を実施し、講習会開催告知や関連情報

の発信などを行った。ホームページ閲覧者は 77,000 ビューを越えた。

勉強会、講習会等の個別活動内容は、以下の通りである。

#### a) 地方創生 DAO の山古志勉強会（7 月）

地方創生 DAO による新たな参加型手法について、山古志 DAO を対象に現地視察を行い、運営組織の課題、デジタル村民の功罪などをヒアリングし、建設コンサルタントの関わり方について意見交換を兼ねた勉強会を行った。

#### b) コミュニケーションプラットフォームの活用実態調査（9 月）

(株)Groove Designs に対して、Web でのヒアリングを実施し、ツール活用の現状、効果や課題などについて意見交換を行った。

#### c) LABV 山陽小野田勉強会（11 月）

新たな地域づくり手法として、公有地を現物出資し、民間事業者と連携して公共施設を複合的に整備する LABV について、その導入の先進都市である山陽小野田市の事例視察と関係者との意見交換を兼ねた勉強会を行った。

#### d) 参加型計画専門委員会講習会（1 月）

上記の成果をとりまとめ、山陽小野田 LABV プロジェクトの事例紹介を行うとともに、山古志 DAO を運営する山古志住民会議の代表である竹内 春華 氏、およびデジタル村民のるい氏を招いて講演いただき、新たなまちづくりに関する参加型計画の今後の展開、建設コンサルタントに求められる技術と役割について、意見交換を行った。Web 開催で約 100 名が参加した。

※DAO とは、特定の管理者が存在せず、ブロックチェーンを活用しながら参加者同士の投票で意思決定し、事業やプロジェクトを推進する組織などを意味する。

### 2. 次年度の活動について

新たな都市・地域づくりにおける参加のあり方や、建設コンサルタントの役割、対応すべき参加型技術や連携技術等について、外部との勉強会も開催しながら検討する予定である。

（参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司）